

ほろよい牛 通信

発行者：HFMCo.Ltd

2025年4月号

4月屠畜見合わせの恐れがあります…申し訳ありません

「ほろよい牛」は、毎月1頭～3頭のペースで屠畜し、皆様へご提供させていただいておりますが、今月（4月）は牛の成長等を鑑み屠畜を翌月にずらします。

「ほろよい牛」は宮古島地域の厳選された経産牛を飼育しており、頭数が限られるうえ、成長に一定期間を要します。また、“生き物”なので、どうしても体調不良やトラブルも発生します。出来る限り不測の事態に対応できるようにしておりますが、今月出荷適応できる牛の準備が間に合わない恐れがあります。一部の商品は在庫切れを起こす恐れがあり、皆様へはご迷惑をおかけすることになりますが、品質保持のためにご理解をいただきますようお願いいたします。



引き続きよろしくお祈いします。

FOOD RISING 出店しました。

去った3/23(日) JTAドームで開催された



「FOOD RISING 2025」に「ほろよい牛」も参加しました。



お肉はもちろん、今回は「あますことなくいただくProject」を一緒に推進しているPereisolaさん革製品も出品！たくさんの方々にお越しいただきました。

ありがとうございました…

4月号の内容

- 4月屠畜を見合わせます……1
- Food Rising 出店……1
- ほろよい牛候補生、大量導入
……2
- 命をあますことなくいただく・
……2

25年3月の屠畜予定

4月…調整中

TOPIC

- ・屠畜見合わせの恐れ
- ・余すことなく頂くProject



「ほろよい牛」候補牛…大量導入調整中！！

1面で4月の屠畜を見合わせ恐れがある旨お伝えしましたが、今後十分な在庫と品質を安定的に確保できるように、今月、ほろよい牛候補牛を6頭探し、一定の導入基準をクリアしたので大量導入調整中です。

現在、7～8頭のほろよい牛候補生を肥育していましたが、この導入により



13～14頭となり、今後17～18頭を維持できるように導入を続けます。

島内の安定供給はもちろん、島外、県外…しいては加工品などの海外展開も視野に入れて販路を拡大していきます。

一定期間ご迷惑をおかけしますが、

今後ともよろしくお願ひします。

余すことなく、いただく Project

…牛の命を大切に、できるだけ無駄をなくして「余すことなく、いただく」…

私たち動物は、他の生き物の「いのち」を奪わなければ一時も生きていくことはできません。食を考えることは「いのち」を考えること…尊い「いのち」があったことを忘れず、敬うために牛さんの「いのち」を無駄にしないプロジェクトをいよいよ本格始動します。

まず取り組むのは…

- ・牛革製品の製造支援と販売協力
- ・高濃度フラセンタの製造開発協力と販売協力 に取り組みます。



宮古島では、ほぼすべて廃棄されている牛革をできる限り革製品にして利用していただくための製造支援や、牛の胎盤から採取できる高濃度フラセンタの製造支援を行い、販売協力します。

現在、リリース最終段階で今後詳細を発表していきます。ご期待ください。

「宮古島泡盛 ほろよい牛」は「宮古牛」ではありません。正しく表記、周知をお願いします。